

## ポリヌクレオチドアデニル基転移酵素

Cat. No. EXWM-3233

Lot. No. (See product label)

### はじめに

#### □明

CTPとともに働く作用します。DNA鎖の3'末端を1ヌクレオチドずつテンプレート非依存的に延長する触媒作用を持ちます。新たに鎖を開始することはできません。プライマーは、酵素の供給源に応じて、RNAまたはDNAフラグメント、または3'-OH末端基を持つオリゴ(A)である可能性があります。EC 2.7.7.6 DNA指向RNAポリメラーゼも参照してください。

#### 別名

NTPポリメラーゼ; RNAアデニル化酵素; AMPポリヌクレオチドレキソトランスフェラーゼ; ATP-ポリヌクレオチドアデニル転移酵素; ATP:ポリヌクレオチドレキソトランスフェラーゼ; ポリ(A)ポリメラーゼ; ポリ(A)シンテターゼ; ポリアデニレートヌクレオチジル転移酵素; ポリアデニレートポリメラーゼ; ポリアデニレートシンテターゼ; ポリアデニル酸ポリメラーゼ; ポリアデニルポリメラーゼ; ターミナルリボアデニレート転移酵素; ポリ(A)ヒドロラーゼ; RNA形成因子, PF1; アデノシン三リン酸:リボ核酸アデニル転移酵素

### 製品情報

#### 形態

液体または凍結乾燥粉末

#### EC番号

EC 2.7.7.19

#### CAS登録番号

9026-30-6

#### 反応

ATP + RNAn = ニリン酸 + RNAn+1

#### 備考

このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

### 保管・発送情報

#### 保存方法

短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。